

爽・創・荘

学校だより

令和5年10月6日

加古川市立両荘中学校

爽やかであること、創造すること、成長することを願って、「爽（そう）・創（そう）・荘（そう）」と名付けました

迷っていいんです 注目される“モヤモヤする力”

先日、NHKで、ハッとする内容の番組がありました。一緒に考えたいこととして取り上げたいと思います。

今は、AI時代になり、何かと、素早い対応が求められる時代です。情報化が進み、Chat GPTなどを使えば、コンピュータですぐに欲しい答えを得られやすくなった時代ともいえます。便利になった反面、すぐに答えを見つけなければならないこのスピードに何か落ち着かない空気を感じることも多くなりました。

そこで今、話題になっているのが、モヤモヤする力だそうです。NHKのHPによれば、「答えが出ない事態に直面した時、すぐに結論を出さずにモヤモヤし続けることが力だ」という考え方で、海外でも「ネガティブ・ケイパビリティ(Negative capability)」という言葉で広がっているということです。医学、大学などの分野でも注目され始めています。

実験で、モヤモヤ力の高いチームとモヤモヤ力の低いチームを比べ、課題に対してどのような考えを導きだすかを観察していくと、モヤモヤ力の高いチームの方が、時間はかかっても、アイデアが次々と飛び出すようになったそうです。実験を行った大学の先生は、「効率ばかりを追及しないで議論すること、迷うことを楽しんでいくことも、これからの時代、重要になると思います」とコメントしています。元気のでてくるコメントだと思いませんか。困難にぶつかっても、焦らず、考えつづけることで、名案に巡り合える可能性があるということです。

スピードが求められる時代だからこそその教訓のようにも思います。これからの長い人生、困難にぶつかることもあるでしょう。ちょっと思い出していただければ、少しは心の余裕もでてくるかもしれません。一度考えてみてください

《出典》

NHK クローズアップ現代HP 全記録 since1993

放送 2023年9月6日(水)

9月のホームページ「両荘エトセトラ」より

「あいうえおはな」 with みとろフルーツパーク ～地域連携行事～ 9月4日

9月4日(月曜日)6時間目に、みとろフルーツパークから4名のスタッフの方にお越しいただき、1学期にそれぞれが考えた「7文字のまほうのことば」から、「あいうえおはな・ソーラーパネル短冊」の制作に取り組みました。この取組は、両荘みらい学園「ふるさとみらい科」のプレカリキュラムとしてイメージできる取組です。



「あいうえおはな」は、美術家・高橋匡太さんが考案した光のアートです。7文字の「まほうのことば」を考え、〈あいうえおはなコードブック〉にもとづいて、その文字を表す短冊をライトの周りに並べて貼ると、短冊がはなびらとなりお花のかたちが出来上がるというものです。



本日の作品は、みとろフルーツパークのオープニングイベント(10月6日オープン)に合わせて、パーク内に全校生徒の「あいうえおはな」が飾られる予定です。生徒たちが、7文字にどんな思いを込めたのか、実際に行ってみて感じ取ってください。

先生たちも勉強しています 9月29日



今日は、新規採用2年目の先生の研究授業がありました。全県から合計8名の先生方が来校され、研究が進められました。

授業では、「目的にあったTシャツを選ぼう」というテーマで進んでいきました。「A 6,900円 ブランド・肌触りがよい」「B 1,900円 シワになりやすい うすい」「C 2,900円 シワになりにくい 分厚い 重い」「D 3,900円 リサイクル素材 軽い

着心地 シワになりにくい」の4つのTシャツのうちどれを選ぶかを根拠をもって思考していきます。最初は自由に選択しましたが、途中で思考を深めるために「体育祭で使う」や「旅行で使う」といった条件(目的)が加わります。ディスカッションを通して、自分の選択が条件(目的)とともに変わっていくことを実感していました。実際の生活場面でも、十分にありえるシチュエーションでより良い生活を送るための知恵を学んだのではないのでしょうか。



授業後は、一時間の流れについて、先生方とともに、研究が行われました。